



HIGASHIYAMATO

2015(平成27年).8.1

号 外

東大和市ホームページアドレス <http://www.city.higashiyamato.lg.jp/>

# 東やまと市報

## 戦後70年 平和特集号

〔東大和市平和都市宣言(抄)〕

戦争と核兵器のない世界の建設  
にむけて努力することをあらためて誓い、東大和市が平和都市  
であることを宣言する。

発行/東大和市 編集/企画財政部秘書広報課 (〒 207-8585) 東大和市中心 3-930 ☎042-563-2111(市役所代表) ファクス 042-563-5932

忘れない。

私たちのまちには戦場だった。

そして願う、恒久平和を。



### 西の原爆ドーム

### 東の変電所

ライトアップされた旧日立航空機株式会社変電所 (平成26年8月8日、第10回平和市民のつどいで撮影)



東大和少年少女合唱団の皆さん(平成26年8月8日、第10回平和市民のつどいで撮影)

### 平和への思いは一つ

平成27年、日本は戦後70年を迎えました。現在、戦後生まれの人口は一億人を超え、日本の総人口の約8割を占めております。戦争を経験された方たちは少なくなり、その記憶を今に語り継ぐことが年々難しくなっております。

戦争の悲惨さと平和の尊さを、改めて市民の皆様と一緒に考えるため、戦後の節目の年に、戦災建造物であります「旧日立航空機株式会社変電所」を本紙第1面に掲載し、平和特集号の市報として初めて作成しました。

また、戦争の体験を風化させることがないように、戦争体験の映像記録の制作にも取り組みました。この記録には、旧日立航空機株式会社に勤務されていた方の体験談なども収録されており、8月15日に開催します当市の「平和市民のつどい」においても上映を予定しております。これらの市の平和事業を通じて、「何を繰り返してはいけないのか」を改めて考えるきっかけとなればと思います。

私たちには、先人達が残してくれた言葉を一つひとつ心に刻み、かけがいのない平和な日々を守る責務があると感じています。

かつて多くの人々が、戦火に包まれ、悲しい歴史の1ページを経験しました。70年前が遠い過去のものとならぬよう、これからも、恒久平和を心に誓い、未来に繋げてまいります。

東大和市長 尾崎保夫

# 第11回

8月15日(土)開催

# 平和市民のつどい

平和市民のつどいでは、1で行う予定です)

場所 都立東大和南公園  
内平和広場

駐車場はありませんので、徒歩等でお越しください。

時間・内容 左表参照  
問合せ 企画課・内線1425まで。

また、今年は、市内の子どもたちが絵を描いた平和祈念キャンドルの点灯や、市で制作した戦争体験映像記録(DVD作品)の上映も行います。

平和の大切さを再認識する機会として、多くの方のご来場をお待ちしています。

期日 8月15日(土)(雨天でも開催しますが、荒天の場合には桜が丘市民センター

市では、市内の子どもたちに、平和を祈念したキャンドルシェード(和紙)を制作してもらい、平和市民のつどいで平和祈念キャンドルとして設置する予定です

425まで。

制作に  
ご協力ください

願いを込めて

設置場所

●キャンドルシェード・児童館(8月7日(金)まで)

●折り鶴・東大和市ふれあい広場、中央公民館、図書館、児童館、郷土博物館(8月31日(月)まで)

問合せ 企画課・内線1425まで。

### 平和市民のつどい 時間・内容

午後2時～ 午後7時40分	<p>【旧日立航空機株式会社変電所内】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●変電所内の特別公開(午後8時まで)</li> <li>●東大和市刊行物の販売</li> <li>●慰霊塔及び追悼式の写真パネルの展示</li> <li>●平和文集及び日本国憲法の配布</li> <li>●戦争体験映像記録(DVD作品)の上映</li> </ul> <p>【特設テント内】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●折鶴制作コーナー</li> <li>●「核兵器禁止条約」早期実現の署名コーナー</li> <li>●平和祈念キャンドル制作コーナー</li> <li>●平和文集及び日本国憲法の配布</li> </ul>
午後5時35分～ 午後7時40分	<p>【ステージテント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●開会宣言</li> <li>●平和コンサート・第1部(演奏:国立音楽大学学生)</li> <li>●戦争体験の朗読劇(都立東大和南高等学校演劇部)</li> <li>●平和祈念式典(黙とう、主催者等あいさつ、平和都市宣言朗読)</li> <li>●中学生による広島派遣事業報告会</li> <li>●平和コンサート・第2部(合唱:東大和少年少女合唱団)</li> </ul>
午後6時20分～ 午後7時40分	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平和祈念キャンドル点灯</li> <li>●変電所のライトアップ</li> </ul>

### 平和都市宣言と平和月間

市では、平成2年に「平和都市」を宣言し、恒久平和の実現と核兵器の廃絶に向けて、平和意識の高揚に取り組んでいます。また、8月を「平和月間」と位置付け、平和に関する様々な事業を実施しています。

# 戦争を風化させないために 戦争体験 映像記録

作しました。  
この映像記録(DVD作品)を希望者に無料で貸し出します。

**映像内容** 東大和市及び旧日立航空機株式会社変電所の歴史や現在の姿、市民の方々の戦争体験談を映像作品としてまとめたものです。

**貸出開始日** 8月17日(月)  
8月15日(土)開催の第11回平和市民のつどいで、先行上映する予定です。  
**貸出場所** 企画課(市役所4階)

戦争を体験された方は高齢となり、戦争の記憶を語り継ぐことが難しくなっています。そこで、市では、戦争を風化させることがないように、戦争を体験された市民の方等にご出演の協力をいただき、戦争体験映像記録(DVD作品)を制作しました。

## いま、語り継ぎたいこと〜戦争と平和〜 平和文集を 発刊

平成27年度平和文集「いま、語り継ぎたいこと〜戦争と平和〜」を発刊します。

平和文集には、戦争の体験記に加え、市内の小・中学生から寄せられた戦争と平和に関する作文も掲載しています。

この平和文集を希望者に無料で配布します。

**配布開始日** 8月17日(月)  
8月15日(土)開催の第11回平和市民のつどいで、先行配布する予定です。  
**配布場所** 企画課(市役所4階)

## 平和月間の 催し物の



**市政情報コーナー** 今月のテーマは「戦後70年の平和と事業」です。  
市では、毎年平和月間に実施している平和事業を、今年は一層充実させています。今月の市政情報コーナー(市役所3階)では、これらの取り組みを紹介します。  
**問合せ** 文書課・内線1321まで。

**ふれあい広場** 広島・長崎被爆写真パネル展  
東大和市ふれあい広場(玉川上水駅北側すぐ)では、広島・長崎被爆写真パネル展を、8月31日(月)まで開催しています。  
**開所時間** 正午〜午後6時(休業日はありません)  
**問合せ** 企画課・内線1425まで。



戦争や戦時中の生活に関する収蔵資料、市民の方がお持ちの資料を展示中です。また、変電所を中心に、全国に残る戦争や空襲の痕跡を写真等で紹介しています。  
**日時** 9月6日(日)までの午前9時〜午後5時(毎週月曜日は休館日です)  
**会場** 郷土博物館企画展示室  
**展示ガイド** 8月1日(土)、8月16日(日)、9月5日(土)のいずれも午後2時から、博物館職員による展示ガイドを行います。所要時間は30分です。

## 黙とうへの ご協力を

広島市と長崎市では、8月6日・9日の原爆の日に慰霊並びに式典が行われます。また、8月15日の終戦記念日には全国戦没者追悼式が行われます。  
戦争で亡くなられた数多くのの人々を追悼し、平和を

**中央・桜が丘・清原図書館** 非核平和図書館  
戦後70年をテーマに図書展示し、貸し出します。  
**場所・期間** 中央図書館・桜が丘図書館・8月24日(月)まで、清原図書館・8月23日(日)まで  
**開館時間** 休館日等は、それぞれの図書館にお問い合わせください。

**問合せ** 中央図書館 ☎042-564 2454、桜が丘図書館 ☎042-567 2231、清原図書館 ☎042-564 2944まで。

程度。申込みは不要です。  
**企画展示関連講演会「日本の戦争遺跡の調査・研究と保存」旧日立航空機変電所を中心として**  
**日時** 8月9日(日)午後2時〜4時  
**会場** 中央公民館ホール  
**講師** 十菱駿武氏(戦争遺跡保存全国ネットワーク共同代表)  
**定員** おおむね100人(当日先着順)  
◆以上のお問合せは、郷土博物館 ☎042-567 4800まで。

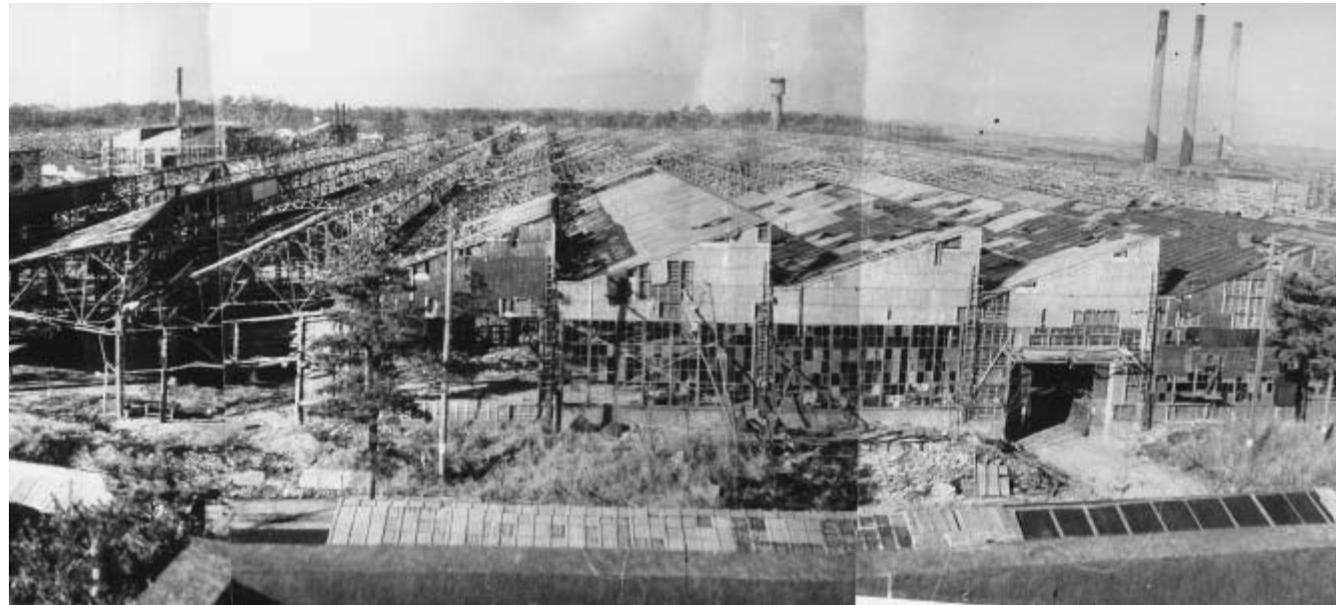
## 変電所の 特別公開

祈念するため、家庭・職場・地域などで、それぞれの時間に合わせた黙とうへのご協力をお願いします。  
**日時** 8月11日(火) 23日(日)午後2時〜5時(8月17日(日)は除く)  
8月15日(土)は、平和市民のつどいで開催に伴い、午後8時まで公開します。  
**問合せ** 郷土博物館 ☎042-567 4800まで。

## 軍需工場 戦争の歴史

昭和13年、北多摩郡大和村(現在の東大和市)に戦闘機のエンジンを製造する大きな軍需工場が建設されました。東京瓦斯電気工業株式会社(翌年「日立航空機株式会社立川工場」となる)です。

工場の敷地北西部にあった変電所は、高圧線で送られてきた電気を減圧して工場へ送る重要な施設でした。昭和20年、多摩地域一帯の他の軍需工場と同様に、当時の大和村でも合計10回の空襲があったといわれています。  
犠牲者を出した空襲は3回あり、工場の従業員や動員された学生、周辺の住民など、あわせて111名の方が亡くなりました。なかでも4月24日の攻撃では、一、八、発余りの爆弾が投下され、工場は8割方壊滅したといわれています。  
3回の空襲により、建物のほとんどが破壊されましたが、変電所は奇跡的に生き残りました。もちろん窓枠や扉などは爆風で吹き飛び、壁面には機銃掃射や爆弾の破片による無数の穴ができました。  
戦争で多くの尊い命が犠牲になったことを、誰よりも雄弁に物語る変電所。市では、この変電所を平成7年に文化財に指定し、後世に伝えることにしました。



<写真の解説>

左の写真は、現在の都立東大和南公園付近にあった旧日立航空機株式会社立川工場を、終戦直後の昭和20年9月に、東側から撮影したものです。

度重なる空襲で、建物の一部は骨組みだけとなっています。写真右の煙突の下付近にある建物が変電所です。

70年の時を経て、戦争の悲惨さを現在に伝える貴重な資料です。



# 平和への 願いを込めて

— みんなで作る折り鶴オブジェ —

高さ180cm、幅230cmのパネルに貼られているのは、約3千羽の折り鶴。このオブジェは、中央公民館まつり（平成27年6月開催）の際に、多くの方の力により作られました。

15色の折り鶴たちが、多摩湖の取水塔や大空に飛び立つ鳩などを美しく表現しています。

青い空にかかる大きな虹。太陽が照らす湖面と緑の木々。この平和な景色がいつまでも見られますように。

